

# 中海干拓地における排水性改善の取り組み

大規模な営農を展開している中海干拓地では、特有の土壌条件による排水不良のほ場が散見され、作物の生育や機械作業の障害となる等営農を推進する上での課題となっています。

そこで、排水性の向上を目的としたほ場改善方法の比較実証を行った結果、心土破碎では十分な効果を確認できませんでしたが、ほ場を傾斜化することで、排水性が改善され、作物の生産安定に効果があることを確認しました。

圃場傾斜化は、経費コストの面からも有効な改善方法と考えられます。

(今回実証経費レーザーレベラー約5万円/10a、慣行暗渠排水工事約15万円/10a)

## 0.7%傾斜区

## 心土破碎区 (造成時の0.3%勾配)

ほ場改良方法

レーザーレベラーでほ場に0.7%勾配をつける



エアージェンレーターで心土破碎を実施



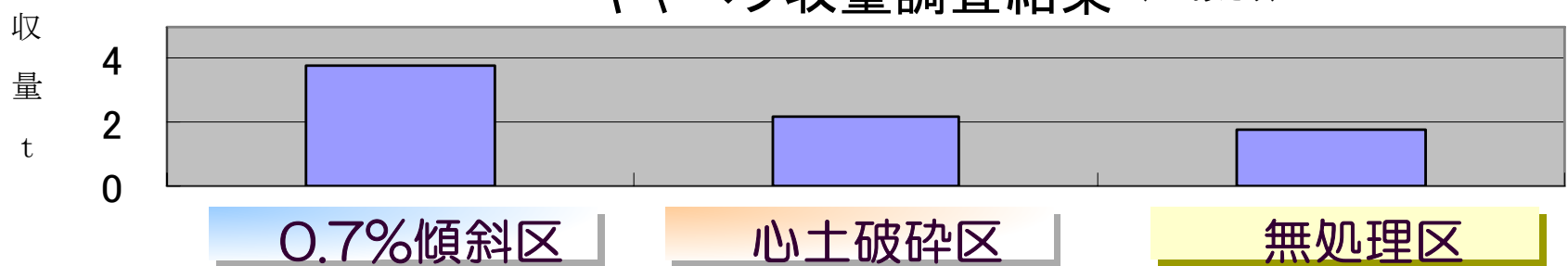
実証結果



キャベツの生育状況と排水状況



キャベツ収量調査結果 (10aあたり)



後作状況

## キャベツ後作ソルゴの生育状況



0.7%傾斜区



心土破碎区

※本実証はH19,20年度農林水産省の営農計画管理地区調査として実施